

週次ファンダメンタルズ・サマリー 2026-08-27 (W35)

レポート対象期間: 2026-08-24 (月) ~ 2026-08-30 (日) ISO週 2026-W35 / 生成日時 2026-08-27 11:29 JST

対象: 米/日/ユーロ圏/独/仏/英/スイス/豪/加/NZ

データソース: FRED + ECB SDW + ONS + StatCan + RBA + TE + 中銀RSS (鮮度閾値 7日 / 月次≥45 / 四半期≥100 自動調整)

⚠ 整合性チェック: セクション間の不一致を検出

レポート内の数値・判定をセクション横断で突き合わせた結果、**1件**の不一致を検出しました (重大 1 / 中 0 / 軽微 0)。該当箇所の数値は、下記を踏まえて解釈してください。

深刻度	領域	内容
● 重大	CPI P I	NZ: ヒートマップのCPI 4.10% と 先行指標モメンタムのCPI現在値 3.08% が乖離 / モメンタム計算に使う系列 (OECD/DSD_PRICES@DF_PRICES_ALL/NZL.Q.N.CPI.PA._T.N.GY) は 2026-01-01 が最新で 238日前。先行指標モメンタムの判定が古いデータに基づいている

このチェックは `consistency_check.py` がレポート生成前に自動実行しています。検出された項目は、データソースの更新停止や集約ロジックの誤りが原因のことが多く、「どちらの数字が正しいか」を判断する材料として利用してください。

🔔 中銀ポリシーレート (最新 & 変化検出)

国	中銀	現在(TE)	先週(TE)	履歴(FRED)	変化検出
米国	FRB	3.75%	3.75%	3.75%	(据置)
日本	日銀	1.00%	1.00%	0.84%	▲ +0.16% (履歴比)
ユーロ圏	ECB	2.40%	2.25%	2.25%	▲ +0.15% (先週比)
英国	BoE	3.75%	3.75%	3.73%	(据置)
スイス	SNB	0.00%	0.00%	-0.04%	(据置)
豪州	RBA	4.35%	4.35%	4.46%	▼ -0.11% (履歴比)
カナダ	BoC	2.25%	2.25%	2.27%	(据置)
NZ	RBNZ	2.50%	2.50%	2.68%	▼ -0.18% (履歴比)
メキシコ	Banxico	6.50%	6.50%	—	(据置)

現在(TE): 今日 Trading Economics 最新 / 先週(TE): 先週土曜の TE / 履歴: FRED/ECB
▲ ▼ 先週比 が最も確実 (同一ソース比較)。週次累積は data/cb_rate_history.parquet に保存

📰 直近の主要指標発表

発表日(推定)	観測月	国	指標	値
08/27	2026-08	英国	政策金利	3.73
08/26	2026-08	ユーロ圏	政策金利	2.25

発表日(推定)	観測月	国	指標	値
08/26	2026-08	ドイツ	政策金利	2.25
08/26	2026-08	米国	政策金利	3.75
08/26	2026-08	フランス	政策金利	2.25
08/26	2026-04	米国	GDP	24,269.61
08/20	2026-07	豪州	失業率	4.50
08/19	2026-07	英国	コアCPI	1.30
08/19	2026-07	英国	CPI	3.10
08/19	2026-07	英国	CPI	2.90
08/18	2026-07	米国	鉱工業生産	102.99
08/18	2026-07	米国	鉱工業生産	1.10
08/17	2026-04	NZ	失業率	5.60
08/17	2026-07	カナダ	CPI	3.00
08/17	2026-06	豪州	失業率	4.43
08/17	2026-07	カナダ	コアCPI	2.70
08/17	2026-07	カナダ	CPI	169.00
08/16	2026-04	日本	GDP	598,288.00
08/14	2026-06	英国	失業率	4.90
08/14	2026-06	豪州	賃金	3.20
08/14	2026-07	米国	小売売上	660,047.00
08/14	2026-07	メキシコ	CPI	3.12
08/14	2026-06	英国	賃金	755.00
08/14	2026-06	英国	賃金	4.10
08/14	2026-04	スイス	GDP	213,098.00
08/13	2026-06	ユーロ圏	鉱工業生産	0.10
08/12	2026-07	米国	コアCPI	336.79
08/12	2026-07	米国	CPI	332.81
08/12	2026-07	米国	CPI	3.40
08/10	2026-07	英国	小売売上	103.80

発表日は FRED の last_updated を使用（それ以外は観測月+ラグで推定）。



主要国経済の現在地（景気・インフレ・雇用）

各国の GDP(または鉱工業生産)・CPI・失業率の直近3ヶ月モメンタムを↗(加速/改善)→(横ばい)↘(減速/悪化)の3方向矢印で機械的に分類。「↗=常に好材料」ではない点に注意(例:インフレの↗はむしろ警戒材料)。

国	景気	インフレ	雇用(労働需給)
米国	↘	↘	↗
ユーロ圏	↘	→	↗
英国	↗	↗	↗
日本	→	↗	↗
ドイツ	↗	→	↘
フランス	→	↘	↘
スイス	↗	↘	↘
豪州	—	↗	↘
カナダ	↗	↗	↗
NZ	—	→	↘

景気: GDP優先、データ未整備の国(豪州・NZ)は鉱工業生産で代用、それも無ければ「—」。インフレ: CPI(YoY)の3ヶ月モメンタム。雇用: 失業率の3ヶ月変化を反転(↗=失業率低下=労働市場逼迫、↘=失業率上昇=労働市場緩み)。



政策金利マップ

国	政策金利	前回比	最終更新	中銀バイアス	次回会合
米国	3.75%	— —	2026-08-27	⚖️ 中立	2026-09-16 (あと20日)
日本	1.00%	— —	2026-08-27	⚖️ 中立	2026-09-18 (あと22日)
ユーロ圏	2.40%	— —	2026-08-27	⚖️ 中立	2026-09-10 (あと14日)
ドイツ	2.25%	→ 0.00	2026-08-26	👉 やや	2026-09-10 (あと14日)
フランス	2.25%	→ 0.00	2026-08-26	👉 やや	2026-09-10 (あと14日)
英国	3.75%	— —	2026-08-27	⚖️ 中立	2026-09-17 (あと21日)
スイス	0.00%	— —	2026-08-27	⚖️ 中立	2026-09-24 (あと28日)
豪州	4.35%	— —	2026-08-27	👉 やや	2026-09-29 (あと33日)
カナダ	2.25%	— —	2026-08-27	⚖️ 中立	2026-09-02 (あと6日)
NZ	2.50%	— —	2026-08-27	⚖️ 中立	2026-09-02 (あと6日)
メキシコ	6.50%	— —	2026-08-27	⚖️ 中立	—



インフレ / 失業 ヒートマップ

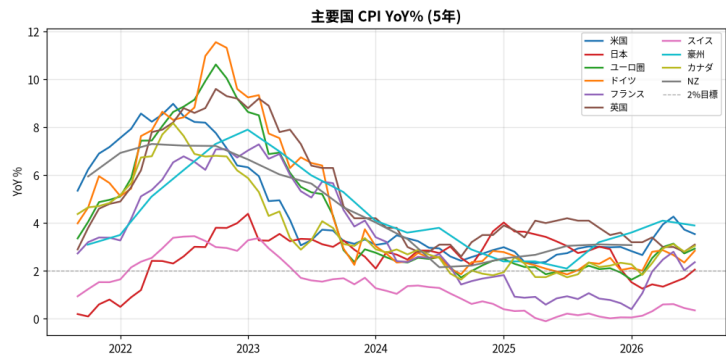
国	CPI(YoY%)	失業率	政策金利	実質金利	CPI日付
米国	3.5	4.1	3.75	+0.21	2026-07
日本	2.1	2.5	1.00	-1.06	2026-07
ユーロ圏	2.9	6.3	2.40	-0.53	2026-07
ドイツ	2.8	6.4	2.25	-0.59	2026-07
フランス	2.4	8.2	2.25	-0.12	2026-07
英国	3.1	4.9	3.75	+0.65	2026-07
スイス	0.4	3.0	0.00	-0.35	2026-07
豪州	3.5	4.5	4.35	+0.85	2026-07
カナダ	3.0	6.4	2.25	-0.80	2026-07
NZ	4.1	5.6	2.50	-1.60	2026-04
メキシコ	3.1	2.9	6.50	+3.38	2026-07

実質金利 = 政策金利 - CPI(YoY%)。プラス=タカ派的、マイナス=緩和的。

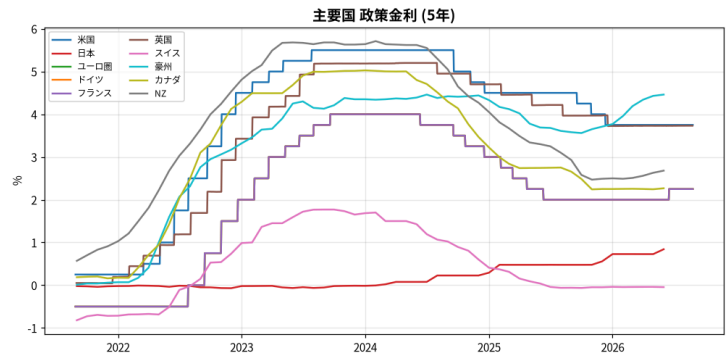


主要指標の推移

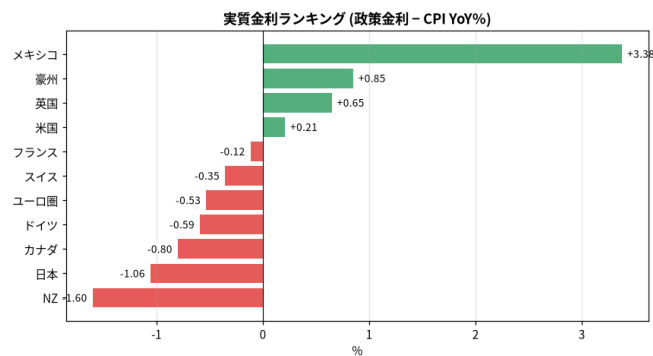
CPI YoY% 比較 (5年)



政策金利 推移 (5年)



実質金利ランキング



17 July 重要指標 (今日～09/06・1件)

日時(UTC)	通貨	イベント	前回	予想
08/27 Thu 23:30	JPY	東京コアCPI	1.9%	1.8%

🔥🔥🔥 (95+): 中銀政策・NFP級 / 🔥🔥 (80+): CPI・総裁発言 / 🔥 (70+): GDP・小売
中銀の金利発表・声明・記者会見は1行に集約。ユーロ圏は加盟国別に接頭辞 (独/仏/伊/西)
🎓 学習済み: 7カテゴリは実際の値動き実績(半減期1年)で重要度を自動補正 (手動テーブルの固定値ではなく、感応度の変化を追従)
📰 直近ニュースの話題性(半減期2週間)で一時的に補正: 注目度↑ central_bank_policy, inflation / 関心薄 employment, growth, manufacturing_sentiment, retail_consumer

🌐 通年ビッグイベント (選挙・国際会議等)

経済指標カレンダーがカバーしない、不定期の政治・国際会議イベント。手動メンテ (最終更新: 2026-08-15)。各行の出典を参照。

日程	種別	イベント	国/地域	為替への意味合い	出典
2026-08-27 ～ 2026-08-29	🎤	Jackson Hole 経済シンポジウム	US	FRB議長ら主要中銀総裁が講演。金融政策の方向性を示唆する発言が出やすく、過去にも相場を大きく動かした実績あり。2026年テーマは「金融イノベーション: 決済と政策への含意」。	Federal Reserve Bank of Kansas City
2026-08-29 ～ 2026-08-30	🏛️	G20 財務トラック代理会合 (アシュビル)	US	財務相・中銀総裁会合の準備会合。為替・関税を巡る各国スタンスの事前観測材料になりうる。	U.S. Department of the Treasury
2026-08-31 ～ 2026-09-01	🏛️	G20 財務相・中央銀行総裁会議 (アシュビル)	US	為替市場の過度な変動やグローバル・インバランスに関する共同声明が出ることがあり、直接的なFXの材料になりうる。	U.S. Department of the Treasury / WLOS

日程	種別	イベント	国/ 地域	為替への意味合い	出典
2026-09-13		スウェーデン総選挙	EU (S E)	スウェーデンはユーロ非導入国 (SEK) だがEU加盟国の政治情勢としてユーロ圏センチメントに波及しうる。本プロジェクトの追跡通貨(EUR)には直接含まれないが参考として掲載。	スウェーデン選挙管理庁 (Valmyndigheten)
2026-10-04 ～ 2026-10-25		ブラジル総選挙 (第1回10/4、決選投票10/25)	BR	南米最大の総選挙。直接の追跡通貨ではないが、新興国リスクセンチメント全般 (MXN含む) に波及しうる。	Rio Times
2026-10-12 ～ 2026-10-18		IMF・世界銀行 年次総会 (バンコク)	TH	世界経済見通し (WE0) 改訂・各国財務相/中銀総裁の発言が集中。新興国通貨・グローバルリスク選好に影響しうる。	IMF / World Bank Group
2026-10-15		G20 財務相・中央銀行総裁会議 (バンコク)	TH	IMF世銀総会に合わせて開催。為替コミュニケに注目。	G20 Research Group (Toronto)
2026-10-30 ～ 2026-10-31		G20 外相会合 (アトランタ)	US	外交・地政学リスクの温度感を測る材料 (直接のFX材料としては財務トラックより弱い)。	U.S. Department of State
2026-11-03		米中間選挙	US	上下院・多数の知事選が改選。財政政策・関税政策の先行きに影響しうる大型イベント。USD全般のボラティリティ要因。	Ballotpedia / Bipartisan Policy Center
2026-12-14 ～ 2026-12-15		G20 首脳会議 (マイアミ/ドラル)	US	米国が議長国を務める今年最大級的首脳級会合。通商・関税・グローバル経済ガバナンスを巡る首脳声明が相場材料になりうる。	G20.org_(公式) / CBS News

 選挙・国際会議は開催国政府/国際機関の一次情報源を確認の上、手動で登録。自動フェッチ可能な単一APIが存在しないため、日程変更は都度手動反映が必要な点に注意。

テーマ	重要度	言及数	直近キーワード	FX影響
 米国通商政策・関税	 高	12	ustr(5), tariff(4), import(2), trade war(1)	USD 強気 / MXN・CAD・CNY 売り / リスクオフで JPY・C…
 中東情勢・原油	 中	9	oil(4), iran(2), wti(1), middle east(1), hormuz(1)	原油高→CAD買い / リスクオフで JPY・CHF・ゴールド買い / EU…
 大統領選・政治	 中	4	fiscal(2), trump(1), election(1)	個別イベント前後でボラ上昇、ドル/債券利回りに直接影響
 中国景気・地政学	 低	2	china(2)	AUD・NZD・銅資源国通貨売り / CNY 緩やかな元安容認
 為替介入・通貨防衛	 低	2	intervention(2)	USD/JPY 介入観測でボラ拡大、リスク管理必須

ソース：中銀公式RSS + FXニュース・直近14日のキーワード集計

中銀バイアス（自動導出）

政策金利の公式レート推移（中銀公式サイト/TE直取り）+ 中銀公式RSSのトーンキーワード分析から自動導出

国	バイアス	次の一手	トーン	発言数	金利動向
米国	neutral	hold	neutral (+0)	6	stable (連続0)
ユーロ圏	neutral	hold	neutral (+0)	8	stable (連続0)
日本	neutral	hold	neutral (-1)	27	stable (連続0)
英国	neutral	hold	neutral (+0)	1	stable (連続0)
豪州	dovish-leaning	cut	dovish-leaning (-1)	2	stable (連続0)
NZ	neutral	hold	neutral (+0)	0	stable (連続0)
スイス	neutral	hold	neutral (+0)	0	stable (連続0)
カナダ	neutral	hold	neutral (+0)	0	stable (連続0)
メキシコ	neutral	hold	neutral (+0)	0	stable (連続0)

 **住宅ローン構造の違いに注意：**米国は住宅ローンの9割が固定金利のため、利上げ局面でも既存 borrowerの月々の支払いは変わらず、金利急騰でも清算売りが出にくい（2022-23年の急ピッチ利上げでも住宅市場が崩れなかった一因）。対して日本は住宅ローンの大半が変動金利のため、日銀の利上げは家計の実質可処分所得により速く・直接的に波及しやすい構造的な違いがある。同じ「利上げ」でも、政策金利変更が实体经济に効くスピードが国によって大きく異なる点は中銀バイアス解釈の際に踏まえておきたい。

先行指標モメンタム → 政策シナリオ

現状の1点のスナップショットではなく、CPI(YoY)・失業率・賃金の直近3～6ヶ月のトレンド方向を見て、このまま進んだ場合に中銀がどちら方向に動きやすいかを一般的なマクロ経済の教科書的な関係性（インフレ加速×労働逼迫→タカ派化、等）に当てはめたシナリオ整理。

⚠ 統計的にバックテストされた予測モデルではなく、経験則ベースの整理。断定ではなく判断材料の1つとして扱うこと。

国	シナリオ	信頼度	CPI 3m方向	CPI 6m方向	労働市場	賃金	ULC
日本	▲ インフレ再加速シグナル	75	+0.71 pt	+0.53 pt	逼迫 ↓	加速	—
米国	☀ ディスインフレ+雇用堅調（ソフトランディング的）	54	-0.41 pt	+0.71 pt	逼迫 ↓	鈍化	加速
英国	▲ インフレ再加速シグナル	45	+0.10 pt	-0.10 pt	逼迫 ↓	鈍化	—
フランス	▼ ディスインフレ+労働軟化シグナル	45	-0.11 pt	+1.96 pt	緩和 ↑	鈍化	—
カナダ	▲ インフレ再加速シグナル	45	+0.11 pt	+0.77 pt	逼迫 ↓	鈍化	—
スイス	▼ ディスインフレ+労働軟化シグナル	35	-0.25 pt	+0.30 pt	緩和 ↑	—	—
豪州	⚡ スタグフレーション的な組み合わせ（インフレ↑・雇用↓）	25	+0.30 pt	+0.70 pt	緩和 ↑	—	—
ドイツ	? 明確な方向感なし	20	-0.03 pt	+0.72 pt	緩和 ↑	—	—
ユーロ圏	? 明確な方向感なし	20	-0.07 pt	+1.30 pt	逼迫 ↓	—	—
NZ	? 明確な方向感なし	10	-0.03 pt	+0.03 pt	緩和 ↑	—	—

ULC(単位労働コスト)は現状米国のみ取得可能（他国はOECDミラーの更新停止により未対応）。「賃金上昇が生産性上昇を上回っているか」を示し、インフレが一過性のコストプッシュで終わるか需要主導で持続するかを見極める鍵になる。

日本：インフレ再加速シグナル (信頼度 75)

- 根拠：CPI(YoY) 3ヶ月モメンタム +0.71pt / 直近3ヶ月連続で同方向 / 変化幅が明確 / 失業率も低下方向 (3m -0.20pt) / 賃金YoYも加速方向
- 見立て：CPIが3ヶ月連続で上昇方向、かつ労働市場が緩んでいない。この組み合わせが続くと、中銀は据置スタンスの継続、または利下げ観測の後退・利上げ再開観測が強まりやすい。統計確認から実際の会合での言及までは通常1回、行動に移すまで2-3回の会合（目安2-9ヶ月）のラグが一般的。

米国：ディスインフレ+雇用堅調（ソフトランディング的） （信頼度 54）

- 根拠：CPI(YoY) 3ヶ月モメンタム -0.41pt / 変化幅が明確 / 失業率も低下方向（3m -0.20pt） / 賃金YoYも鈍化方向 / 単位労働コスト(ULC)も加速方向（3m +1.07pt） — インフレの持続性を左右する指標 / ⚠️ 季節性注意：夏場(6-8月)の米雇用統計は学校区雇用者数の季節調整タイミングのズレでノイズが...
- 見立て：インフレは鈍化方向だが労働市場は依然逼迫。教科書的にはソフトランディングに近い組み合わせで、中銀は急いで動く必要が薄く、様子見（据置）が続きやすい。
- ⚠️ 季節性の注意点：夏場(6-8月)の米雇用統計は学校区雇用者数の季節調整タイミングのズレでノイズが増えやすい。2026年7月分では学期延長の影響で地方政府部門だけで統計上約5.7万人分の下振れが生じたと指摘された。労働市場モメンタムの読みはやや割り引いて見る必要がある。 （出典：BLS Seasonal Adjustment / Axios (2026-08-07) (https://www.bls.gov/sae/seasonal-adjustment/)）

英国：インフレ再加速シグナル （信頼度 45）

- 根拠：CPI(YoY) 3ヶ月モメンタム +0.10pt / 失業率も低下方向（3m -0.10pt） / 賃金YoYも鈍化方向
- 見立て：CPIが3ヶ月連続で上昇方向、かつ労働市場が緩んでいない。この組み合わせが続くと、中銀は据置スタンスの継続、または利下げ観測の後退・利上げ再開観測が強まりやすい。統計確認から実際の会合での言及までは通常1回、行動に移すまで2-3回の会合（目安2-9ヶ月）のラグが一般的。

信頼度の読み方：モメンタムの大きさ + 連続性（直近3ヶ月同方向か） + 労働市場/賃金との整合性で加減点。50+=複数の先行指標が同方向、50未満=CPIの動きが主根拠でまだ弱い。過去の的中率データが5件以上溜まったシナリオは、その実績で信頼度を自動補正する。

 予測トラッキング実績（学習ループ）

累計ログ 150 件（判定待ち 150 件 / 答え合わせ済み 0 件）。各予測は約4ヶ月後に実際の政策金利の動きと照合し、シナリオ別の的中率を翌週以降の信頼度スコアに反映する。
まだ答え合わせ可能な予測がない（最初の予測から約4ヶ月経過するまでは実績なし）。

 金利レジーム判定（危機か、構造転換か）

長期金利の**水準**だけを見ても、それが危険な水準かは判断できない。同じ金利上昇でも中身が異なるため、
①名目を実質と期待インフレに分解、②信認危機の同時発生チェック、③グローバル同期度、④カーブ形状 の4軸で機械的に判定する。米国が対象（実質金利・クレジットの日次データが揃うのが米国のため）。

現在の水準

指標	現在値	指標	現在値
米10年 名目	4.64%	米10年 実質(TIPS)	2.32%
米30年 名目	5.17%	米30年 実質(TIPS)	2.92%
10年-30年 スプレッド	+0.53pt	10年 ターンプレミアム	0.87%
ハイイールド社債OAS	2.7%	投資適格社債OAS	0.81%

指標	現在値	指標	現在値
30年固定住宅ローン金利	6.65%		

- 判定**
- 1. 金利上昇の中身:** ➡ **横ばい圏**
- 名目10年は3ヶ月で+0.08ptと横ばい圏 (実質+0.16pt / 期待インフレ-0.08pt)
- 2. 信認危機チェック:** ● **信認危機の兆候なし**
- 長期金利の上昇: ✕ (米10年 3ヶ月 +0.08pt)
 - 通貨(ドル)の下落: ✕ (USDJPY 3ヶ月 +0.13% (ドル高))
 - 株式の下落: ✕ (S&P500 3ヶ月 +2.08%)
 - クレジットスプレッド拡大: ✕ (ハイイールドOAS 3ヶ月 -0.04pt (現在 2.7%))
- 金利が上昇していても、通貨・株式・クレジットが同時に崩れていなければ「信認危機」ではない。金利上昇が経済の強さや資本需要の「結果」である可能性が相対的に高く、水準の高さだけを理由に危機と判断すべきではない。ただし高金利の長期化による累積的な負担(住宅・借換え・政府利払い)は別途進行する点には注意。
- 3. グローバル同期度:** 🌐 **グローバル同時上昇 (5/7カ国)**
- 主要国の10年債 3ヶ月変化: 米国 +0.08pt / 日本 +0.32pt / ドイツ +0.06pt / フランス +0.04pt / 英国 +0.10pt / カナダ -0.02pt / 豪州 -0.09pt
- 主要国の長期金利が揃って上昇しており、特定国固有の信認問題というより世界的に超長期資金の価格が切り上がっている (Global Duration Repricing) 構図に近い。ただし各国が自国で高い利回りを確保できるようになるため、為替ヘッジコストを負ってまで米国債を買う動機が弱まり、資金が自国回帰する要因にもなりうる点は米ドルにとってのリスク。
- 4. イールドカーブ形状:** 📈 **平行移動**
- 10年 +0.08pt / 30年 +0.10pt とほぼ同幅で、カーブ形状の大きな変化は見られない。

⚠️ 「危機ではない」ことと「問題がない」ことは別。信認危機の兆候がなくても、高金利が長期化すれば住宅市場・企業の借り換え・政府の利払い負担には累積的な負荷がかかる。判定は**急性のストレスが出ているか**を見るものであって、慢性的な負担の有無を示すものではない。

 債券利回り変動局面の質判定

中長期(6ヶ月優先、無ければ3ヶ月)のトレンドを主局面として判定し、直近1ヶ月だけの急な動きは「ショック」として別枠で拾う。中長期で明確なトレンドが無い国でも、直近1ヶ月だけ大きく動いていればショックとして表示される。株価指数・通貨の反応は判定に使った時間軸に揃えて突き合わせ、上昇・下落いずれの局面も「株・通貨が同方向に動いているか」で健全/不健全を切り分ける。

局面	起点	市場反応	解釈
上昇	● 良い上昇: 景気拡大・企業収益改善 → 中銀が利上げ/緩和縮小	株高・通貨高	健全な金利上昇
上昇	● 悪い上昇: インフレ懸念・財政赤字・中銀信認低下	株安・通貨安	将来不安からのプレミアム上昇
下落	● 良い低下: インフレ沈静化・安定成長 → 中銀の利下げ期待	株高・通貨底堅さ	ソフトランディング型の金利低下

局面	起点	市場反応		解釈
下落	● 悪い低下：景気後退懸念 → 質への逃避	株安・通貨安	リスクオフ主導の金利低下	

国	局面	基準	判定	信頼度	利回り変化	株価	通貨
日本	上昇	中長期	● 判定不能（株・通貨の反応が不一致・上昇） 1997年06月以来の高水準	66	6ヶ月 +0.61pt	+12.37%	-2.31%
メキシコ	上昇	中長期	● 判定不能（株・通貨の反応が不一致・上昇） nan	65	6ヶ月 +0.49pt	-7.28%	+1.28%
米国	上昇	中長期	● 判定不能（株・通貨の反応が不一致・上昇） nan	58	6ヶ月 +0.59pt	+2.08%	+0.13%
NZ	下落	ショック	● 判定不能（株・通貨の反応が不一致・低下） nan	47	1ヶ月 -0.22pt	+0.21%	+2.54%
スイス	下落	ショック	● 判定不能（株・通貨の反応が不一致・低下） nan	44	1ヶ月 -0.13pt	+0.02%	+1.29%
カナダ	下落	ショック	● 判定不能（株・通貨の反応が不一致・低下） nan	44	1ヶ月 -0.12pt	+4.08%	-1.04%
豪州	下落	ショック	● 良い低下（ソフトランディング型） nan	40	1ヶ月 -0.15pt	+1.62%	+2.70%
英国	上昇	中長期	● 判定不能（株・通貨の反応が不一致・上昇） nan	39	6ヶ月 +0.31pt	-0.82%	+0.67%

日本（6ヶ月基準）：株価と通貨の反応が典型的な良い/悪いパターンに一致しない。個別材料の確認が必要。

- 1997年06月以来の高水準（1990年以降のFRED実データで確認）

メキシコ（6ヶ月基準）：株価と通貨の反応が典型的な良い/悪いパターンに一致しない。個別材料の確認が必要。

- nan（1990年以降のFRED実データで確認）
- ✓ 直近1ヶ月も同方向（1m +0.57pt）→ トレンド継続感を補強
- ⚠ メキシコの10年債利回りはOECDミラー経由の月次データで、公表ラグが2-3ヶ月と他国（日次/週次）より粗い。直近1ヶ月の「ショック」判定は実質的に機能しにくく、中長期トレンド寄りの判定として扱うこと。EM通貨のため流動性・スワップ・地政学リスクも他の主要通貨より高い点に注意（TOP5推奨等の主要分析では除外継続）。

米国（6ヶ月基準）：株価と通貨の反応が典型的な良い/悪いパターンに一致しない。個別材料の確認が必要。

- nan（1990年以降のFRED実データで確認）
- ⚠ 市場反応（株・通貨）はデータ蓄積不足のため主局面（6ヶ月）ではなく3ヶ月換算で代用

NZ（1ヶ月基準）：株価と通貨の反応が典型的な良い/悪いパターンに一致しない。個別材料の確認が必要。

- nan (1990年以降のFRED実データで確認)
- 直近1ヶ月の急な動き (中期3m/6mではまだ明確なトレンドなし) → ショック的な動きの可能性、持続性は未確認

スイス (1ヶ月基準): 株価と通貨の反応が典型的な良い/悪いパターンに一致しない。個別材料の確認が必要。

- nan (1990年以降のFRED実データで確認)
- 直近1ヶ月の急な動き (中期3m/6mではまだ明確なトレンドなし) → ショック的な動きの可能性、持続性は未確認

カナダ (1ヶ月基準): 株価と通貨の反応が典型的な良い/悪いパターンに一致しない。個別材料の確認が必要。

- nan (1990年以降のFRED実データで確認)
- 直近1ヶ月の急な動き (中期3m/6mではまだ明確なトレンドなし) → ショック的な動きの可能性、持続性は未確認

豪州 (1ヶ月基準): 株高・通貨底堅さを伴う金利低下 = インフレ沈静化・景気の過熱も失速もない安定を背景に、中銀の利下げ/緩和期待を市場が好感していると解釈される可能性が高い。

- nan (1990年以降のFRED実データで確認)
- CPIモメンタムは加速方向 (3m +0.30pt) → ソフトランディング説と矛盾、インフレ再燃リスクに注意
- 直近1ヶ月の急な動き (中期3m/6mではまだ明確なトレンドなし) → ショック的な動きの可能性、持続性は未確認

英国 (6ヶ月基準): 株価と通貨の反応が典型的な良い/悪いパターンに一致しない。個別材料の確認が必要。

- nan (1990年以降のFRED実データで確認)
- ⚠ 直近1ヶ月は中期トレンドと逆行 (1m -0.15pt) → 短期の反発/巻き戻しの可能性、トレンド継続性に注意

⚠ 株価・通貨の変化率のみによる機械的な相関チェック。要人発言・格付け動向・地政学など個別材料は含まれていないため、一次スクリーニングとして扱うこと。

🧠 AI 予測 (歴史パターン × 普遍法則)

過去のFX市場で繰り返し観測された経験則を現状データとマッチング。
直近ファンダの分析だけでは見えない**中長期の中央バイアス**を抽出。

🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🇺🇸 米国通商政策・関税) (信頼度 65/100)

- 🌐 **原理:** 地政学的緊張 (紅海の輸送妨害、関税措置等) で海上輸送コストや中間財コストが上昇すると、企業のコスト増が価格転嫁されてCPIに波及することが中銀・学術研究で確認されている。ただし波及の強さは一様ではなく、NY連銀のサプライチェーン圧力指数は紅海危機の初期にはほとんど動かなかった例もあり、また関税起因のインフレについても「ほぼ全て説明できる」とするFRB分析と「関税だけでは説明しきれない」とする連銀分

析の両方が存在する。地政学テーマの検知だけでなく、実際のCPIモメンタムが加速方向かどうかと合わせて判断する必要がある。

- 📌 **現状マッチ**: 🇺🇸 米国通商政策・関税 severity 🔴 高 (12件言及, キーワード: ustr(5), tariff(4), import(2), trade war(1)) / 実際にCPI加速方向の国: 日本, 英国, カナダ, 豪州
- 🎯 **予測**: 物流コスト増・中間財コスト増が価格転嫁されると、対象国のCPIが上振れしやすくなり、中銀のタカ派化観測(=通貨支持材料)につながりうる。ただし波及の強さは地政学リスクの規模・持続期間次第で一様ではない。🌐 先行指標モメンタムセクションのCPI実データと合わせて確認すること。
- ⚠️ **反転リスク**: 地政学リスクが短期で沈静化すれば物流コストも正常化し、インフレへの波及は限定的なまま終わることも多い。地政学検知だけで断定しない。
- 📖 **歴史的先行ケース**:
- 2023-11~ 紅海フーシ派攻撃: スエズ運河経由(世界海上輸送の15%、コンテナ貿易の30%)が喜望峰迂回を強いられ輸送コスト・納期が悪化、インフレ再燃リスクとして複数の分析で指摘 (CEPR/WEF)
- 2025年米関税: 中間財向け関税がコア財PCE価格を2026年2月までに+3.1pt押し上げ、コア財の「超過インフレ」を全て説明したとFRB分析 (一方でMinneapolis連銀は懐疑的な反証分析も公表、断定は禁物)
- 🔗 **出典**: [CEPR 'Sailing through storms: The fallout of Red Sea disruptions for global trade and inflation'](#) / [Federal Reserve Bank of Boston 'The Impact of Tariffs on Inflation'](#) / [Federal Reserve Bank of Minneapolis 'Tariffs can't explain rising goods inflation'](#) (反証・懐疑的見解)

🕒 月末/四半期末 ロンドンフィクシング・リバランスフロー (信頼度 55/100)

- 🌀 **原理**: パッシブ株式/債券インデックスファンドやカストディアンは、月末(特に四半期末)に指数連動のため保有ポジションを再調整し、その為替部分をWM/Reuters 16:00ロンドンフィックスで一括執行する。これは方向感のあるメカニカルなフローとして知られ、直近15分間の値動きが通常のボラティリティの95パーセンタイルに入るとの分析もある。特に有名な経路: 米国株が上昇 → 海外投資家の対米資産の為替ヘッジ比率(保有額に対する必要ヘッジ額)が増加 → ヘッジのための米ドル売りが月末フィックスに向けて積み上がりやすい。米国株が下落した月は逆にヘッジ解消の米ドル買いが出やすい。
- 📌 **現状マッチ**: 月末営業日 2026-08-31 まであと4日 / S&P500 当月 +3.6% → 海外投資家の対米ヘッジ比率上昇によるドル売り圧力が月末フィックスに向けて積み上がりやすい方向
- 🎯 **予測**: 16:00ロンドンフィックスにかけて商いが薄い時間帯でも値動きが大きくなりやすい。特に直前15分は変動が普段より大きくなりやすいとの分析があるため、その時間帯の指値・逆指値は幅を広めに取るなど執行面での注意が有効。
- ⚠️ **反転リスク**: フィックスフローはメカニカルな需給要因の一つに過ぎず、それ単独で最終的な方向を決めるものではない。他の材料と打ち消し合うことも多い。
- 📖 **歴史的先行ケース**:
- 月末・四半期末は他の時期と比べてフィックス前後の値動きが統計的に有意に大きいことが確認されている (FCA Occasional Paper 46)
- 四半期末はインデックスの定期入替も重なり、月末単独より値動きが大きくなりやすい
- 🔗 **出典**: [FCA Occasional Paper 46 'Fixing the Fix? Assessing the Effectiveness of the 4pm Fix'](#) / [Global Market Structure 'Month End Rebalancing_| Quarter-End Flow Pressures'](#) / [Eastspring Investments 'Navigating index rebalancing effects: Key insights for smarter execution'](#)

📌 実質金利極端 → Mean Reversion 期待 (信頼度 50/100)

- 🧬 **原理**: Real rate parity (実質金利平価) は中期的に成立、短期では乖離継続
- 📌 **現状マッチ**: 実質金利スプレッド MX (高) vs NZ (低) で >5.0pt
- 🎯 **予測**: 1-2四半期で収束方向 (両中銀のスタンス変化を市場が織り込み)。長期では平均回帰
- ⚠️ **反転リスク**: 短期では更に乖離 → 2-3ヶ月のホールド推奨、ATRワイドストップ
- 📖 **歴史的先行ケース**:
- 長期的に実質金利差は平均回帰、ただし2-5年の波

🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🇸🇩 中東情勢・原油)

(信頼度 50/100)

- 🧬 **原理**: 地政学的緊張 (紅海の輸送妨害、関税措置等) で海上輸送コストや中間財コストが上昇すると、企業のコスト増が価格転嫁されてCPIに波及することが中銀・学術研究で確認されている。ただし波及の強さは一様ではなく、NY連銀のサプライチェーン圧力指数は紅海危機の初期にはほとんど動かなかった例もあり、また関税起因のインフレについても「ほぼ全て説明できる」とするFRB分析と「関税だけでは説明しきれない」とする連銀分析の両方が存在する。地政学テーマの検知だけでなく、実際のCPIモメンタムが加速方向かどうかと合わせて判断する必要がある。
- 📌 **現状マッチ**: 🇸🇩 中東情勢・原油 severity 🟡 中 (9件言及, キーワード: oil(4), iran(2), wti(1), middle east(1), hormuz(1)) / 実際にCPI加速方向の国: 日本, 英国, カナダ, 豪州
- 🎯 **予測**: 物流コスト増・中間財コスト増が価格転嫁されると、対象国のCPIが上振れしやすくなり、中銀のタカ派化観測(=通貨支持材料)につながりうる。ただし波及の強さは地政学リスクの規模・持続期間次第で一様ではない。🌐 先行指標モメンタムセクションのCPI実データと合わせて確認すること。
- ⚠️ **反転リスク**: 地政学リスクが短期で沈静化すれば物流コストも正常化し、インフレへの波及は限定的なまま終わることも多い。地政学検知だけで断定しない。
- 📖 **歴史的先行ケース**:
- 2023-11~ 紅海フーシ派攻撃: スエズ運河経由(世界海上輸送の15%、コンテナ貿易の30%)が喜望峰迂回を強いられ輸送コスト・納期が悪化、インフレ再燃リスクとして複数の分析で指摘 (CEPR/WEF)
- 2025年米関税: 中間財向け関税がコア財PCE価格を2026年2月までに+3.1pt押し上げ、コア財の「超過インフレ」を全て説明したとFRB分析 (一方でMinneapolis連銀は懐疑的な反証分析も公表、断定は禁物)
- 🔗 **出典**: [CEPR 'Sailing through storms: The fallout of Red Sea disruptions for global trade and inflation'](#) / [Federal Reserve Bank of Boston 'The Impact of Tariffs on Inflation'](#) / [Federal Reserve Bank of Minneapolis 'Tariffs can't explain rising goods inflation'](#) (反証・懐疑的見解)

📅 17 季節性アノマリー (8月) (信頼度 40/100)

- 🧬 **原理**: 出典が確認できる既知の季節性アノマリー (推測・経験則ではない)
- 📌 **現状マッチ**: 8月は該当期間
- 🎯 **予測**: 米雇用統計の夏場季節調整ノイズ (6-7月と同様の構造)。
- ⚠️ **反転リスク**: 季節性は統計的傾向であり、個別の材料・ファンダ次第で打ち消される年もある。断定材料にしない。
- 🔗 **出典**: [U.S. Bureau of Labor Statistics 'Seasonal Adjustment'](#)

信頼度の読み方: 現状データが各経験則の発動条件にどれだけ合致するか。
70+ = 強合致 (歴史と同じ動きの可能性高)、50-70 = 中程度、<50 = 弱合致 (材料の1つ)

 政策転換点スイング推奨 (長期: 3~6ヶ月)

中銀の金融政策サイクル転換を捉える方向性トレード。
短期テクニカルより**ファンダ転換シグナル**を重視。期待値幅 200-500 pips、
中銀会合数回をまたぐ長期保有を想定。
! 米国・ユーロ圏・独・仏は公式ターゲット金利ベースで信頼性が高い一方、日/英/瑞/豪/加/NZは銀行間金利等の代理指標を24ヶ月トレンドとして使っており 誤検出のリスクが相対的に高い(公式レートの長期データが蓄積され次第、置き換え予定)。高確度ペアT0P5への統合でもこの4カ国のシグナルのみを採用している。

検出された政策転換シグナル

国	転換方向	信頼度	24m	6m	3m
ユーロ圏	 →  利下→利上	50	-1.35%	+0.40%	+0.40%
フランス	 →  利下→利上	50	-1.50%	+0.25%	+0.25%
ドイツ	 →  利下→利上	50	-1.50%	+0.25%	+0.25%
米国	 →  利下→利上	20	-1.75%	+0.00%	+0.00%
カナダ	 →  利下→利上	20	-2.05%	-0.01%	-0.02%

- 主要根拠:**
- **ユーロ圏** (50/100): 長期(24m) -1.35% / 直近(3m) +0.40% → **利上げ転換 active**
 - **フランス** (50/100): 長期(24m) -1.50% / 直近(3m) +0.25% → **利上げ転換 active**
 - **ドイツ** (50/100): 長期(24m) -1.50% / 直近(3m) +0.25% → **利上げ転換 active**
 - **米国** (20/100): 長期(24m) -1.75% で利下げ完了感 → 次は据置または利上げ転換可能性
 - **カナダ** (20/100): 長期(24m) -2.05% で利下げ完了感 → 次は据置または利上げ転換可能性

 スイング推奨ペア (政策転換ベース)

ペア	方向	期間	期待値幅	ロジック
EURUSD	● long (🔥 強)	3-6ヶ月	300-500 pips	EZ(EUR) 利上げ転換 → EUR買い
EURJPY	● long (🔥 強)	3-6ヶ月	300-500 pips	EZ(EUR) 利上げ転換 → EUR買い
EURGBP	● long (🔥 強)	3-6ヶ月	300-500 pips	EZ(EUR) 利上げ転換 → EUR買い
EURCHF	● long (🔥 強)	3-6ヶ月	300-500 pips	EZ(EUR) 利上げ転換 → EUR買い
EURAUD	● long (🔥 強)	3-6ヶ月	300-500 pips	EZ(EUR) 利上げ転換 → EUR買い

信頼度の読み方: 政策金利動向 + 中銀公式発言キーワードを合成
期間: 中銀会合数回 (通常2-3回) をまたぐ想定
テクニカル併用推奨: エントリは押し目/戻りで分散投入、
移動平均 (200日線) で大局判断、損切は ATR×3 程度のワイドストップ



市場コンセンサス（自動：政策金利動向 + ニュース narrative）

各中銀の次の一手予想

中銀	現在金利	自動予想	直近トーン	連続動向
FRB（米国）	3.75%	⚖️ hold (neutral)	neutral (score+0)	stable ×0
ECB（ユーロ圏）	2.25%	⚖️ hold (neutral)	neutral (score+0)	stable ×0
BoJ（日本）	1.00%	⚖️ hold (neutral)	neutral (score-1)	stable ×0
BoE（英国）	3.75%	⚖️ hold (neutral)	neutral (score+0)	stable ×0
RBA（豪州）	4.35%	🕊️ cut (dovish-leaning)	dovish-leaning (score-1)	stable ×0
RBNZ（NZ）	2.50%	⚖️ hold (neutral)	neutral (score+0)	stable ×0
SNB（スイス）	0.00%	⚖️ hold (neutral)	neutral (score+0)	stable ×0
BoC（カナダ）	2.25%	⚖️ hold (neutral)	neutral (score+0)	stable ×0
Banxico（メキシコ）	6.50%	⚖️ hold (neutral)	neutral (score+0)	stable ×0

直近の市場見通し記事（自動抽出）

- **08/27** (Investing): Best Buy raises annual sales forecast on steady electronics demand
- **08/27** (FXStreet): British Pound drops to weekly lows below 1.3600 as US Dollar gathers momentum
- **08/27** (Investing): Dollar General raises annual comparable sales forecast
- **08/27** (FXStreet): Gold Price Forecast: XAU/USD hits lows sub-\$4,600 as US inflation supports the Greenback
- **08/27** (FXStreet): WTI価格予測：82.10ドル～82.15ドルの合流ハードル以下では弱気派が優勢
- **08/27** (FXStreet): 銀価格予測：XAG/USD は引き続き強気、下落は 67.40 ドルを上限とする
- **08/27** (FXStreet): エヌビディアの好調な見通しが市場センチメントを引き上げ、ダウジョーンズ先物が上昇
- **08/27** (FXStreet): 財政問題と金利差が円を圧迫する中、英ポンドは週足安値付近で支持線を見つける



中銀公式・直近2週間（自動取得 + 日本語訳）

日付	中銀	タイトル（日本語訳）	原文
08/27	RBA	Payments System Board Update: August 2026 Meeting	Payments System Board Update: August 2026 Meeting
08/27	BoJ	氷見野副知事による埼玉での講演（日本の経済・金融政策）	Speech by Deputy Governor HIMINO in Saitama (Japan's Economy and Monetary Policy)

日付	中 銀	タイトル (日本語訳)	原文
08 /2 6	E C B	Error 500 (Server Error)!!1500.That's an error.There was an error. Please try ag	_Piero Cipollone: From vision to delivery: building Europe's tokenised financial _
08 /2 5	F R B	Error 500 (Server Error)!!1500.That's an error.There was an error. Please try ag	<i>Minutes of the Board's discount rate meetings on July 20 and July 29, 2026</i>
08 /2 5	B o J	コアCPIの指標	<i>Indicators for Core CPI</i>
08 /2 5	R B A	The Road to Ample - Towards a Demand-driven Liquidity Regime	<i>The Road to Ample - Towards a Demand-driven Liquidity Regime</i>
08 /2 4	B o J	日本銀行が保有する国債	<i>Japanese Government Bonds Held by the Bank of Japan</i>
08 /2 4	E C B	Error 500 (Server Error)!!1500.That's an error.There was an error. Please try ag	<i>Piero Cipollone: Interview with ilsussidiario.net</i>
08 /2 4	B o J	Error 500 (Server Error)!!1500.That's an error.There was an error. Please try ag	<i>Financial System Report Annex "Use and Risk Management of Generative AI by Japan</i>
08 /2 4	B o J	Error 500 (Server Error)!!1500.That's an error.There was an error. Please try ag	<i>Bank of Japan Accounts (August 20)</i>
08 /2 3	B o J	国内証券金融取引統計	<i>Statistics on Securities Financing Transactions in Japan</i>
08 /2 1	E C B	ECB 消費者期待調査結果 – 2026 年 7 月	<i>ECB Consumer Expectations Survey results – July 2026</i>
08 /2 1	B o J	実質輸出と実質輸入の推移	<i>Developments in Real Exports and Real Imports</i>
08 /2 0	F R B	連邦準備理事会はナショナル・ウェストミンスター銀行による申請の承認を発表	_Federal Reserve Board announces approval of application by National Westminster _
08 /2	F R	連邦準備制度理事会、SouthPoint Bancshares, Inc. に対して強制執行措置を発動、ドイツ銀行AG、DB USA	<i>Federal Reserve Board issues enforcement action with SouthPoint Bancshares, Inc.</i>

日付	中銀	タイトル (日本語訳)	原文
0	B	Corporation、ドイ	
08/19	F R B	連邦公開市場委員会の議事録、2026 年 7 月 28 ～ 29 日	<i>Minutes of the Federal Open Market Committee, July 28–29, 2026</i>
08/19	E C B	クリスティーヌ・ラガルド氏：世界経済フォーラムでの世界経済見通しに関する議論で欧州経済についてパネル発言	<i>_Christine Lagarde: Panel remarks about the European economy during a discussion _</i>
08/17	E C B	フィリップ・R・レーン：国防支出の増加とユーロ圏経済	<i>Philip R. Lane: The rise in defence spending and the euro area economy</i>
08/17	B o J	経済・物価情勢の展望（2026年7月）のポイント	<i>Highlights of the Outlook for Economic Activity and Prices (July 2026)</i>
08/17	B o J	部門別日銀当座預金残高（7月）	<i>BOJ Current Account Balances by Sector (July)</i>
08/14	B o J	(研究論文) 生産性の向上が賃金に転換されるのを妨げているもの：日本のデフレ期からの教訓	<i>(Research Paper) What Prevents Productivity Gains from Translating into Wages: L</i>
08/13	F R B	連邦準備理事会、リージョン銀行の元従業員に執行措置を発動	<i>_Federal Reserve Board issues enforcement action with former employee of Regions _</i>

RBA/RBNZ/SNB は WAF ブロックのため commentary.py 手動メンテ。



FX見通し・市場分析（自動：見通し系記事抽出）

日時	ソース	通貨ペア	見通し記事（日本語訳）
08/27	FXStreet	USDJPY	Japanese Yen : Range holds with BoJ hike expectations – BBH
08/27	Investing	—	Best Buy raises annual sales forecast on steady electronics demand
08/27	FXStreet	—	British Pound drops to weekly lows below 1.3600 as US Dollar gathers momentum
08/27	Investing	—	Dollar General raises annual comparable sales forecast
08/27	ForexLive	—	Silver consolidates as traders await Fed Chair Warsh speech after US Treasury intervention

日時	ソース	通貨ペア	見通し記事（日本語訳）
08/27	FXStreet	—	Euro retreats below 1.1650 as inflation data buoys US Dollar ahead of Jackson Hole
08/27	FXStreet	—	Canadian Dollar: Trade war complicates BoC path – Standard Chartered
08/27	FXStreet	EURJPY	Euro steadies against Japanese Yen as German sentiment beats expectations
08/27	FXStreet	—	Gold Price Forecast: XAU/USD hits lows sub-\$4,600 as US inflation supports the Greenback
08/27	ForexLive	—	Error 500 (Server Error)!!1500.That's an error.There was an error. Please try again later.That's all we know.
08/27	FXStreet	—	好調な米国経済指標が利上げ期待を呼び起こし、米ドル指数が支持を集める
08/27	FXStreet	—	WTI価格予測：82.10ドル～82.15ドルの合流ハードル以下では弱気派が優勢
08/27	FXStreet	—	米ドル：ウォーシュ氏の演説で市場は慎重に – ING
08/27	FXStreet	—	銀価格予測：XAG/USD は引き続き強気、下落は 67.40 ドルを上限とする
08/27	FXStreet	—	エヌビディアの好調な見通しが市場センチメントを引き上げ、ダウジョーンズ先物が上昇



FX市場ニュース（自動取得・直近1週間）

日時	ソース	ペア	見出し（日本語訳）	原文
08/27 11:18	FXStreet	USD JPY	Japanese Yen : Range holds with BoJ hike expectations – BBH	<i>Japanese Yen : Range holds with BoJ hike expectations – BBH</i>
08/27 11:15	FXStreet	—	Gold eases as traders await clearer signals on the Fed interest rate path	<i>Gold eases as traders await clearer signals on the Fed interest rate path</i>
08/27 11:07	FXStreet	—	British Pound drops to weekly lows below 1.3600 as US Dollar gathers momentum	<i>British Pound drops to weekly lows below 1.3600 as US Dollar gathers momentum</i>
08/27 10:52	FXStreet	—	Australian Dollar remains firm on firm RBA interest rate hike prospects	<i>Australian Dollar remains firm on firm RBA interest rate hike prospects</i>
08/27 10:48	FXStreet	EUR GBP	Euro struggles for direction against British Pound despite upbeat German data	<i>Euro struggles for direction against British Pound despite upbeat German data</i>
08/27 10:16	FXStreet	—	Euro retreats below 1.1650 as inflation data buoys US Dollar ahead of Jackson Ho	<i>Euro retreats below 1.1650 as inflation data buoys US Dollar ahead of Jackson Ho</i>

日時	ソース	ペア	見出し（日本語訳）	原文
08/27 10:05	FXStreet	—	Canadian Dollar: Trade war complicates BoC path – Standard Chartered	Canadian Dollar: Trade war complicates BoC path – Standard Chartered
08/27 09:51	FXStreet	EUR JPY	Euro steadies against Japanese Yen as German sentiment beats expectations	Euro steadies against Japanese Yen as German sentiment beats expectations
08/27 09:49	FXStreet	—	US Dollar: Policy reality supports resilience – OCBC	US Dollar: Policy reality supports resilience – OCBC
08/27 09:46	Forex Live	—	ECB's Radev says October and December meetings remain 'live', policy to be guide	ECB's Radev says October and December meetings remain 'live', policy to be guide
08/27 09:36	FXStreet	—	Gold Price Forecast: XAU/USD hits lows sub-\$4,600 as US inflation supports the G	Gold Price Forecast: XAU/USD hits lows sub-\$4,600 as US inflation supports the G
08/27 09:29	FXStreet	EUR GBP	British Pound: Remains under pressure below resistance against Euro – Societe Ge	British Pound: Remains under pressure below resistance against Euro – Societe Ge
08/27 09:16	FXStreet	—	好調な米国経済指標が利上げ期待を呼び起こし、米ドル指数が支持を集める	United States Dollar Index gains support as strong US data sparks rate hike expe
08/27 08:58	FXStreet	—	ポーランドズロティ：輸入パススルーリスク削減に挑戦 – BNY	Polish Zloty: Import pass-through risks challenge cuts – BNY
08/27 08:57	FXStreet	EUR CAD	ドイツの消費者信頼感統計が好調だったことを受け、ユーロは対カナダドルで安定	Euro steadies against Canadian Dollar following stronger German Consumer Confide
08/27 08:47	FXStreet	—	米ドル：ウォーシュ氏の演説で市場は慎重に – ING	US Dollar: Warsh speech keeps markets cautious – ING
08/27 08:37	FXStreet	—	銀価格予測：XAG/USD は引き続き強気、下落は67.40 ドルを上限とする	Silver Price Forecasts: XAG/USD remains bullish with dips capped above \$67.40
08/27 08:34	FXStreet	USD JPY	ジャクソンホールシンポジウムへのカウントダウンで日本円は対米ドルで横ばい	Japanese Yen flattens against US Dollar in countdown to Jackson Hole Symposium
08/27 08:29	FXStreet	—	エヌビディアの好調な見通しが市場センチメントを引き上げ、ダウジョーンズ先物が上昇	Dow Jones futures advance as strong Nvidia outlook lifts market sentiment
08/27 08:26	FXStreet	—	豪ドル：堅調なインフレに対する抵抗力を試す – OCBC	Australian Dollar: Tests resistance on firm inflation – OCBC



通貨強弱分解（どちらの通貨が主導か）

追跡19ペア全体でその通貨が絡む全ペアの直近1週間の変化率を平均し、「ペア単位の値動き」ではなく「通貨そのものの強さ」を切り分ける手法（Currency Strength Meter）。ペアの動きを base通貨側/quote通貨側どちらの強弱が主導しているかに分解し、主導側の通貨に効いている材料(中銀バイアス・先行指標モメンタム・AI予測)を紐付ける。

通貨別強弱スコア（1週間）

通貨	1週間強弱	使用ペア数
AUD	+1.02%	5
CAD	+0.28%	1 ⚠️ 薄い
USD	+0.19%	7
NZD	+0.14%	3
GBP	+0.10%	5
EUR	-0.06%	5
MXN	-0.18%	1 ⚠️ 薄い
JPY	-0.62%	7
CHF	-0.70%	4

⚠️ 薄い = 追跡ペア内でその通貨が1本のクロスにしか登場せず、強弱分解の精度が他通貨より低い（現状 CAD が該当）。

主要ペアの値動き要因分解（直近1週間、動き幅の大きい順）

ペア	週次推定変化	主導通貨	主導度	base強弱	quote強弱
AUDJPY	+1.63%	AUD	62%	+1.02%	-0.62%
EURAUD	-1.07%	AUD	95%	-0.06%	+1.02%
GBPAUD	-0.91%	AUD	91%	+0.10%	+1.02%
CADJPY	+0.89%	JPY ⚠️	69%	+0.28%	-0.62%
USDCHF	+0.89%	CHF	79%	+0.19%	-0.70%
AUDNZD	+0.88%	AUD	88%	+1.02%	+0.14%
AUDUSD	+0.83%	AUD	84%	+1.02%	+0.19%
GBPCHF	+0.81%	CHF	87%	+0.10%	-0.70%

主導通貨の根拠（動き幅トップ3）:

- **AUDJPY** (+1.63%): 主導=AUD (62%)
- 中銀バイアス: dovish-leaning (次手 cut)
- 先行指標: スタグフレーション的な組み合わせ（インフレ↑・雇用↓）（方向性不明瞭（板挟み））
- **EURAUD** (-1.07%): 主導=AUD (95%)
- 中銀バイアス: dovish-leaning (次手 cut)
- 先行指標: スタグフレーション的な組み合わせ（インフレ↑・雇用↓）（方向性不明瞭（板挟み））
- **GBPAUD** (-0.91%): 主導=AUD (91%)
- 中銀バイアス: dovish-leaning (次手 cut)
- 先行指標: スタグフレーション的な組み合わせ（インフレ↑・雇用↓）（方向性不明瞭（板挟み））

⚠️ あくまで週次の価格変化からの逆算であり、日中の実際の売買フローを直接見ているわけではない。
「主導度」が50%に近いペアはbase/quote両方が同程度動いており、片方だけに帰属させるのは不適切な点に注意。

🎯 FX 分析 (指定19ペア)

マクロ・サマリー

- 📈 **最も緩和的**: NZ 実質金利 -1.60% → 通貨売り材料
- 📈 **最も引き締めの**: メキシコ 実質金利 +3.38% → 通貨買い材料
- 🔥 **インフレ目標を大きく上回る**: 米国 3.5%, NZ 4.1% → 利上げ期待残存
- ❄️ **インフレ目標を下回る**: スイス 0.4% → 利下げ余地

🎯 高確度ペア TOP5 (ファンダ × テクニカル × RR 統合)

順位	ペア	推奨	確度	整合	RR
1	USDMXN 🌶️	🔴 ショート (強)	5.04	✓	3.56
2	AUDNZD	🟢 ロング (強)	3.62	✓	2.23
3	GBPCHF	🟢 ロング (強)	3.57	✓	3.63
4	AUDJPY	🟢 ロング (強)	3.16	✓	3.73
5	EURAUD	🔴 ショート (弱)	2.75	✓	1.66

統合確度 = |スコア| + 整合(+1.0) + RR $\geq$ 1.5(+0.5) + 強トレンド(+0.3) + 200SMAレジサポ整合(+0.4)。スコア自体に実質金利差・中銀バイアス・CPI・先行モメンタム・AI予測/政策転換点/利回り質判定が全て織り込み済み (詳細は下記根拠を参照)。

TOP5 詳細根拠:

- **1. USDMXN**: 実質金利差 -3.17% / AI予測/転換点/利回り質 差 -0.35 (USD: 🕒 月末/四半期末 ロンドンフィクシング・リバランスフロー(55)、政策転換点シグナル(20) / MXN: —)
- **2. AUDNZD**: 実質金利差 +2.45% / 中銀バイアス差 -1 (dovish-leaning vs neutral) / AI予測/転換点/利回り質 差 +0.86 (AUD: 🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🇺🇸 米国通商政策・関税)(65)、🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🛢️ 中東情勢・原油)(50) / NZD: —)
- **3. GBPCHF**: 実質金利差 +1.00% / CPI格差 +2.7pt / 先行モメンタム差 +0.80 (GBP:hawkish/45 vs CHF:dovish/35) / AI予測/転換点/利回り質 差 +0.46 (GBP: 🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🇺🇸 米国通商政策・関税)(65)、🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🛢️ 中東情勢・原油)(50) / CHF: —)
- **4. AUDJPY**: 実質金利差 +1.91% / 中銀バイアス差 -1 (dovish-leaning vs neutral) / CPI格差 +1.4pt / 先行モメンタム差 -0.75 (AUD:neutral/25 vs JPY:hawkish/75) / AI予測/転換点/利回り質 差 +0.40 (AUD: 🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🇺🇸 米国通商政策・関税)(65)、🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🛢️ 中東情勢・原油)(50) / JPY: 🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック

→ コスト増インフレ (🇺🇸 米国通商政策・関税)(65)、🇸🇩 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🇮🇷 中東情勢・原油)(50))

- **5. EURAUD**: 実質金利差 -1.38% / 中銀バイアス差 +1 (neutral vs dovish-leaning) / AI予測/転換点/利回り質 差 -0.36 (EUR: 政策転換点シグナル(50) / AUD: 🇸🇩 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🇺🇸 米国通商政策・関税)(65)、🇸🇩 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ (🇮🇷 中東情勢・原油)(50))

📋 **全19ペア詳細（参考）**

ペア	推奨	スコア	実質金利差	政策金利差
USDMXN 🌶️	🔴 ショート（強）	-3.24	-3.17%	-2.75%
AUDNZD	🟢 ロング（強）	+2.12	+2.45%	+1.85%
GBPJPY	🟢 ロング（強）	+1.87	+1.71%	+2.75%
GBPCHF	🟢 ロング（強）	+1.77	+1.00%	+3.75%
NZDUSD	🔴 ショート（強）	-1.74	-1.81%	-1.25%
AUDJPY	🟢 ロング（強）	+1.66	+1.91%	+3.35%
USDJPY	🟢 ロング（強）	+1.29	+1.27%	+2.75%
EURGBP	🔴 ショート（強）	-1.25	-1.18%	-1.35%
USDCHF	🟢 ロング（強）	+1.18	+0.56%	+3.75%
EURAUD	🔴 ショート（弱）	-0.95	-1.38%	-1.95%
GBPUSD	🟢 ロング（弱）	+0.67	+0.44%	+0.00%
EURUSD	🔴 ショート（弱）	-0.57	-0.74%	-1.35%
EURCHF	🟢 ロング（弱）	+0.49	-0.18%	+2.40%
EURJPY	🟢 ロング（弱）	+0.41	+0.52%	+1.40%
AUDUSD	🟢 ロング（弱）	+0.38	+0.64%	+0.60%
NZDJPY	🔴 ショート（弱）	-0.34	-0.54%	+1.50%
GBPAUD	⚪ 中立（一）	+0.29	-0.20%	-0.60%
CADJPY	⚪ 中立（一）	+0.21	+0.26%	+1.25%
CHFJPY	⚪ 中立（一）	+0.10	+0.70%	-1.00%

スコアの読み方: 実質金利差(%) + 中銀バイアス差×0.5 + CPI格差×0.2 + 先行指標モメンタム差×0.15 + AI予測/政策転換点/利回り質判定 差×0.2。最後の項目は🧠AI予測・🎯政策転換点スイング・📈利回り上昇の質判定の全シグナルを確信度で重み付けして通貨ごとに集約したもの（地政学・国債増発・月末フィックスフロー・季節性・carry unwind等を含む）。いずれも real_spread ほど支配的にならないよう小さい重みに抑えている。

絶対値 >1.0=強シグナル、>0.3=弱シグナル、それ以下=中立。

EM通貨のうちTRY/ZAR/HUFは流動性・スワップ・地政学リスクで除外済。MXN(🌶️)はユーザー要望で追加、ただし同種のリスクは他EM通貨と同様に残る点に注意

📌 **トレンド継続期間・値幅予想（厳選：整合✓ × RR≥1.5）**

ペア	推奨	現値	テクトレンド	期間	触媒	目標pips	損切pips	RR
USDMXN	🔴 short	16.9820	down（強90）	中期（1-3ヶ月）	FRB +20d	2801	786	3.56
GBPCHF	🟢 long	1.0941	up（強84）	中短期（3-6週）	BoE +21d	207	57	3.63
AUDJPY	🟢 long	114.50	up（強38）	中短期（3-6週）	BoJ +22d	265	71	3.73
AUDNZD	🟢 long	1.2079	up（強35）	中期（1-3ヶ月）	RBNZ +6d	156	70	2.23
EURAUD	🔴 short	1.6210	down（強85）	極短期（1-2週）	ECB +14d	128	77	1.66
GBPUSD	🟢 long	1.3582	up（強54）	極短期（1-2週）	FRB +20d	103	62	1.66

厳選基準： ファンダ方向とテクニカル方向の整合 + RR≥1.5 + シグナル|スコア|≥0.5

期間： 次回中銀会合まで or テクニカル時定数で推定

目標/損切： random walk $\sqrt{t}$ スケーリング + ATR ベース

🎯 **注目ペア（詳細）**

USDMXN — 🔴 ショート（強）

- ・ USD（米国）：金利3.75% / CPI3.5% / 実質+0.21% / neutral
- ・ MXN（メキシコ）：金利6.50% / CPI3.1% / 実質+3.38% / neutral
- ・ 実質金利差 -3.17%
- ・ AI予測/転換点/利回り質 差 -0.35（USD：🕒 月末/四半期末 ロンドンフィクシング・リバランスフロー(55)、政策転換点シグナル(20) / MXN：—）

AUDNZD — 🟢 ロング（強）

- ・ AUD（豪州）：金利4.35% / CPI3.5% / 実質+0.85% / dovish-leaning
- ・ NZD（NZ）：金利2.50% / CPI4.1% / 実質-1.60% / neutral
- ・ 実質金利差 +2.45%
- ・ 中銀バイアス差 -1（dovish-leaning vs neutral）
- ・ AI予測/転換点/利回り質 差 +0.86（AUD：🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ（🇺🇸 米国通商政策・関税）(65)、🚢 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ（🇮🇷 中東情勢・原油）(50) / NZD：—）

GBPJPY — ● ロング (強)

- ・ GBP (英国): 金利3.75% / CPI3.1% / 実質+0.65% / neutral
- ・ JPY (日本): 金利1.00% / CPI2.1% / 実質-1.06% / neutral
- ・ 実質金利差 +1.71%
- ・ CPI格差 +1.0pt
- ・ 先行モメンタム差 -0.30 (GBP:hawkish/45 vs JPY:hawkish/75)

GBPCHF — ● ロング (強)

- ・ GBP (英国): 金利3.75% / CPI3.1% / 実質+0.65% / neutral
- ・ CHF (スイス): 金利0.00% / CPI0.4% / 実質-0.35% / neutral
- ・ 実質金利差 +1.00%
- ・ CPI格差 +2.7pt
- ・ 先行モメンタム差 +0.80 (GBP:hawkish/45 vs CHF:dovish/35)
- ・ AI予測/転換点/利回り質 差 +0.46 (GBP:  地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ ( 米国通商政策・関税)(65)、 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ ( 中東情勢・原油)(50) / CHF: —)

NZDUSD — ● ショート (強)

- ・ NZD (NZ): 金利2.50% / CPI4.1% / 実質-1.60% / neutral
- ・ USD (米国): 金利3.75% / CPI3.5% / 実質+0.21% / neutral
- ・ 実質金利差 -1.81%
- ・ AI予測/転換点/利回り質 差 +0.35 (NZD: — / USD:  月末/四半期末 ロンドンフィクシング・リバランスフロー(55)、政策転換点シグナル(20))

AUDJPY — ● ロング (強)

- ・ AUD (豪州): 金利4.35% / CPI3.5% / 実質+0.85% / dovish-leaning
- ・ JPY (日本): 金利1.00% / CPI2.1% / 実質-1.06% / neutral
- ・ 実質金利差 +1.91%
- ・ 中銀バイアス差 -1 (dovish-leaning vs neutral)
- ・ CPI格差 +1.4pt
- ・ 先行モメンタム差 -0.75 (AUD:neutral/25 vs JPY:hawkish/75)
- ・ AI予測/転換点/利回り質 差 +0.40 (AUD:  地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ ( 米国通商政策・関税)(65)、 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ ( 中東情勢・原油)(50) / JPY:  地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ ( 米国通商政策・関税)(65)、 地政学リスク → 物流ボトルネック → コスト増インフレ ( 中東情勢・原油)(50))

 継続保有判定 (既存ポジションの見直し)

直近8週以内にTOP5入りしたペアについて、**今も保有を続けてよいか**を絶対基準で判定したもの。上のTOP5は新規エントリーの優先順位を決める**相対**順位なので、そこから外れただけでは決済理由になりません (自分の根拠が崩れていなくても、他ペアが強くなれば押し出されるため)。

判定	ペア	方向	現在 確度	現在 順位	初回推奨 時	理由
● 撤退 検	US DC	● ロ ング	1. 98	12 位	07/05 (3.63)	確度が 1.98 まで低下し撤退基準(2.0)を下回った。根拠そのものが弱まっている

判定	ペア	方向	現在 確度	現在 順位	初回推奨 時	理由
討	HF				)	
● 撤退検討	EU RG BP	● シ ョー ト	1. 75	13 位	07/05 (4.33)	確度が 1.75 まで低下し撤退基準(2.0)を下回った。根拠そのものが弱まっている
● 撤退検討	GB PA UD	● 中 立	0. 59	16 位	07/19 (3.16)	方向がエントリー時(long)からneutralへ反転。保有の前提が崩れており撤退を検討する場面
● 撤退検討	CH FJ PY	● 中 立	0. 40	18 位	07/05 (3.57)	方向がエントリー時(short)からneutralへ反転。保有の前提が崩れており撤退を検討する場面
● 撤退検討	CA DJ PY	● 中 立	0. 21	19 位	07/05 (3.64)	方向がエントリー時(short)からneutralへ反転。保有の前提が崩れており撤退を検討する場面
● 要注意	GB PJ PY	● ロ ング	2. 37	8位	08/16 (3.54)	方向は維持しているが、確度がエントリー時 3.54 から 2.37 へ 33% 低下。根拠が弱まりつつある
● 継続可	US DM XN	● シ ョー ト	5. 04	1位	08/16 (4.78)	TOP5内を維持。方向・確度とも良好
● 継続可	AU DN ZD	● ロ ング	3. 62	2位	08/22 (2.85)	TOP5内を維持。方向・確度とも良好
● 継続可	GB PC HF	● ロ ング	3. 57	3位	07/05 (5.07)	TOP5内を維持。方向・確度とも良好
● 継続可	AU DJ PY	● ロ ング	3. 16	4位	08/16 (3.40)	TOP5内を維持。方向・確度とも良好
● 継続可	EU RA UD	● シ ョー ト	2. 75	5位	08/22 (2.84)	TOP5内を維持。方向・確度とも良好
● 継続可	NZ DU SD	● シ ョー ト	2. 54	6位	08/09 (2.63)	TOP5からは外れているが、方向は同じで確度も 2.54 を維持している。順位低下は他ペアが相対的に強くなったためで、このポジション自体の根拠は崩れていない
● 継続可	GB PU SD	● ロ ング	2. 47	7位	08/01 (3.20)	TOP5からは外れているが、方向は同じで確度も 2.47 を維持している。順位低下は他ペアが相対的に強くなったためで、このポジション自体の根拠は崩れていない

判定基準: ●撤退検討 = 方向がエントリー時から反転、または確度が 2.0 を下回った / ●要注意 = 方向は維持だが確度がエントリー時から30%以上低下 / ●継続可 = 方向・確度とも維持 (TOP5圏外でも保有継続の根拠は健在)。

⚠ 実際の建玉を把握しているわけではなく、「TOP5に従ってエントリーしていた場合」の仮定に基づく判定です。損切り・利確の最終判断はストップ/ターゲット水準と合わせて行ってください。

 推奨ペアの順位推移 (直近6ヶ月)

過去の推奨順位を時系列で追ったもの (12時点 / 2026-06-07 ~ 2026-08-27)。上位に定着しているペアは根拠が持続しており、急浮上したペアは新しい材料が出た可能性が高い。

最新時点の順位 (2026-08-27)

順位	ペア	方向	確度	前回比
1	USDMXN	● ショート	5.04	→ 変わらず
2	AUDNZD	● ロング	3.62	↑ +2
3	GBPCHF	● ロング	3.57	↓ -1
4	AUDJPY	● ロング	3.16	NEW 新規
5	EURAUD	● ショート	2.75	→ 変わらず
6	NZDUSD	● ショート	2.54	NEW 新規
7	GBPUSD	● ロング	2.47	NEW 新規
8	GBPJPY	● ロング	2.37	NEW 新規
9	EURCHF	● ロング	2.29	NEW 新規
10	AUDUSD	● ロング	2.18	NEW 新規
11	USDJPY	● ロング	2.09	NEW 新規
12	USDCHF	● ロング	1.98	NEW 新規
13	EURGBP	● ショート	1.75	↓ -10
14	EURUSD	● ショート	0.87	NEW 新規
15	NZDJPY	● ショート	0.64	NEW 新規
16	GBPAUD	● 中立	0.59	NEW 新規
17	EURJPY	● ロング	0.41	NEW 新規
18	CHFJPY	● 中立	0.40	NEW 新規
19	CADJPY	● 中立	0.21	NEW 新規

上位定着ペア (期間中のランクイン回数が多い順)

ペア	ランクイン回数	最高順位	平均順位
GBPCHF	11/12	1位	1.4位

ペア	ランクイン回数	最高順位	平均順位
EURGBP	11/12	2位	3.5位
USDCHF	10/12	3位	4.4位
CHFJPY	7/12	2位	5.9位
CADJPY	5/12	3位	7.0位

⚠ 2026-08 より前の履歴は過去レポートPDFから遡及抽出したもので、当時のレポートには TOP5 までしか記載がないため 6位以下は欠測。以降は TOP10 まで記録している。順位はその時点の統合確度に基づくもので、実際の売買成績を示すものではない点に注意。

🏛️ フォワードガイダンス（自動生成）

金利・バイアス・次の一手・シグナル・見立てはすべて自動導出（政策金利実績 + CPI/失業率/実質金利の実測値 + 先行指標モメンタム）。「何を見ているか」欄のみ、国の統計発表体制という構造的事実として固定。

米国 - FRB

金利 **3.75%** / バイアス **neutral** / 次手 **hold**
次回会合 **2026-09-16（あと20日）**
動向: stable×0 / トーン neutral
見立て: 中立〜様子見（先行指標信頼度54）
• CPI 3.5%、目標2.0%を+1.5pt上回り、粘着的
• 失業率 4.1%
• 実質金利 +0.21%（中立的）
見ている指標: コアPCE / 雇用統計 / FOMC メンバー発言

日本 - BoJ

金利 **1.00%** / バイアス **neutral** / 次手 **hold**
次回会合 **2026-09-18（あと22日）**
動向: stable×0 / トーン neutral
見立て: タカ派方向への傾き（先行指標信頼度75）
• CPI 2.1%、目標2.0%近辺で推移
• 失業率 2.5%
• 実質金利 -1.06%（緩和的）
見ている指標: 賃金統計 / コアコアCPI / 日銀総裁発言

ユーロ圏 - ECB

金利 **2.25%** / バイアス **neutral** / 次手 **hold**
次回会合 **2026-09-10（あと14日）**
動向: stable×0 / トーン neutral
見立て: 中立（先行指標信頼度20）
• CPI 2.9%、目標2.0%を+0.9pt上回り、粘着的
• 失業率 6.3%
• 実質金利 -0.53%（緩和的）
見ている指標: HICP速報 / ECB総裁発言 / 独仏PMI

英国 - BoE

金利 **3.75%** / バイアス **neutral** / 次手 **hold**
次回会合 **2026-09-17（あと21日）**
動向: stable×0 / トーン neutral
見立て: タカ派方向への傾き（先行指標信頼度45）
• CPI 3.1%、目標2.0%を+1.1pt上回り、粘着的
• 失業率 4.9%
• 実質金利 +0.65%（引き締めの）
見ている指標: 賃金統計 / サービスCPI / BoE総裁発言

スイス - SNB

金利 **0.00%** / バイアス **neutral** / 次手 **hold**
次回会合 **2026-09-24（あと28日）**
動向: stable×0 / トーン neutral
見立て: ハト派方向への傾き（先行指標信頼度35）
• CPI 0.4%、目標1.0%を-0.6pt下回り、鈍化方向
• 失業率 3.0%
• 実質金利 -0.35%（中立的）
見ている指標: CHF実効レート / SNB資産規模 / 総裁発言

豪州 - RBA

金利 **4.35%** / バイアス **dovish-leaning** / 次手 **cut**
次回会合 **2026-09-29（あと33日）**
動向: stable×0 / トーン dovish-leaning
見立て: 方向性不明瞭（板挟み）（先行指標信頼度25）
• CPI 3.5%、目標2.5%を+1.0pt上回り、粘着的
• 失業率 4.5%
• 実質金利 +0.85%（引き締めの）
見ている指標: 四半期CPI / 雇用統計 / RBA総裁発言

カナダ - BoC

金利 **2.25%** / バイアス **neutral** / 次手 **hold**
次回会合 **2026-09-02（あと6日）**
動向: stable×0 / トーン neutral
見立て: タカ派方向への傾き（先行指標信頼度45）
• CPI 3.0%、目標2.0%を+1.0pt上回り、粘着的
• 失業率 6.4%
• 実質金利 -0.80%（緩和的）
見ている指標: 雇用統計 / コアCPI(trim/median) / BoC総裁発言

NZ - RBNZ

金利 **2.50%** / バイアス **neutral** / 次手 **hold**
次回会合 **2026-09-02（あと6日）**
動向: stable×0 / トーン neutral
見立て: 中立（先行指標信頼度10）
• CPI 4.1%、目標2.0%を+2.1pt上回り、粘着的
• 失業率 5.6%
• 実質金利 -1.60%（緩和的）
見ている指標: 四半期CPI / RBNZ MPS / 雇用統計

🌐 国別ダッシュボード

米国 (US)

日本 (JP)

CPI 3.5% | 失業 4.1% | 金利 3.75% | 実質 +0.21%



指標	値	YoY%	日付
賃金	37.62	3.2	26-07
小売売上	660,047.00	5.0	26-07
鉱工業生産	102.99	1.1	26-07
GDP	24,269.61	2.1	26-04
経常収支	-226,828.00	48.2	26-01

CPI 2.1% | 失業 2.5% | 金利 1.00% | 実質 -1.06%



指標	値	YoY%	日付
賃金	3.40	3.4	26-06
GDP	598,288.00	0.5	26-04
経常収支	-923.00	-107.2	26-06

ユーロ圏 (EZ)

CPI 2.9% | 失業 6.3% | 金利 2.40% | 実質 -0.53%



指標	値	YoY%	日付
鉱工業生産	0.10	0.1	26-06
GDP	0.49 (=値)	26-01	⚠ 未更新8d
経常収支	46,900.00	—	26-06

ドイツ (DE)

CPI 2.8% | 失業 6.4% | 金利 2.25% | 実質 -0.59%



指標	値	YoY%	日付
GDP	781,976.50	0.9	26-04
経常収支	19,033.87	—	26-06

フランス (FR)

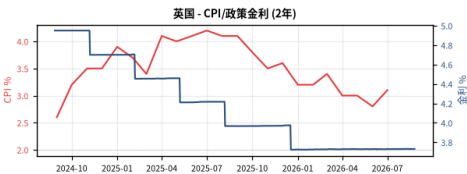
CPI 2.4% | 失業 8.2% | 金利 2.25% | 実質 -0.12%



指標	値	YoY%	日付
賃金	1.70	1.7	26-06
鉱工業生産	0.10	0.1	26-06
GDP	598,284.20	0.7	26-04
経常収支	-1,371.00	—	26-06

英国 (GB)

CPI 3.1% | 失業 4.9% | 金利 3.75% | 実質 +0.65%



指標	値	YoY%	日付
賃金	755.00	4.0	26-06
小売売上	103.80	1.7	26-07
鉱工業生産	98.30	-0.2	26-06
GDP	0.60	(=値)	26-01 ⚠ 未更新15d
経常収支	-22,100.00	—	26-01 ⚠ 未更新15d

スイス (CH)

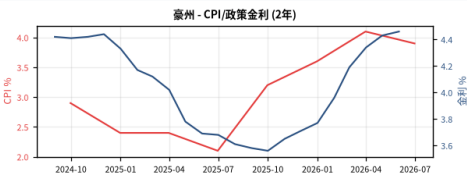
CPI 0.4% | 失業 3.0% | 金利 0.00% | 実質 -0.35%



指標	値	YoY%	日付
GDP	213,098.00	2.3	26-04
経常収支	15,543.80	—	26-01 ⚠ 未更新15d

豪州 (AU)

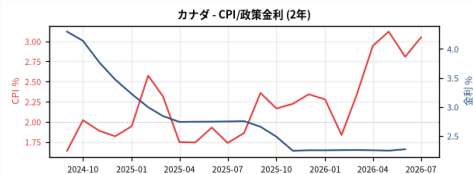
CPI 3.5% | 失業 4.5% | 金利 4.35% | 実質 +0.85%



指標	値	YoY%	日付
賃金	3.20	(=値)	26-06
経常収支	-27,100.00	—	26-01 ⚠ 未更新15d

カナダ (CA)

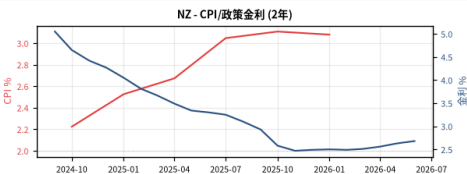
CPI 3.0% | 失業 6.4% | 金利 2.25% | 実質 -0.80%



指標	値	YoY%	日付
----	---	------	----

NZ (NZ)

CPI 4.1% | 失業 5.6% | 金利 2.50% | 実質 -1.60%



指標	値	YoY%	日付
----	---	------	----

賃金	37.17	2.8	26-07
鉱工業生産	2.40	2.4	26-05 ⚠️ 未更新8d
GDP	2,362,482.00	1.7	26-05
経常収支	-7,184.00	—	26-01 ⚠️ 未更新15d

経常収支	-1,010.00	—	26-01 ⚠️ 未更新15d
------	-----------	---	-----------------

メキシコ (MX)

CPI 3.1% | 失業 2.9% | 金利 6.50% | 実質 +3.38%



指標	値	YoY%	日付
鉱工業生産	1.70	—	26-06 ⚠️ 未更新8d
経常収支	8,927.00	—	26-04 ⚠️ 未更新43d

⚠️ 免責

- 本レポートはルールベースの自動生成。最終判断は自分の責任で。
- フォワードガイダンス部分は政策金利実績・CPI/失業率等の実測値・先行指標モメンタムから自動生成。
- 通貨ペア候補は学術的な金利平価/インフレ差理論に基づくが、実勢レートとの乖離・政治イベント・地合いを考慮すること。